

2010

ボランティア体験月間活動報告



社会福祉法人 綾町社会福祉協議会

綾町ボランティアセンター

ブログ : <http://www.bura-vola.org/vd/ayavc/blog/>



目 次

■ 夏のボランティア体験月間活動実績

① 参加申込アンケート結果	3 ページ
② ボランティア活動アンケート結果	6 ページ
③ 福祉施設ボランティア体験活動写真	9 ページ
④ 環境ボランティア体験	10 ページ
⑤ 【様式1】ボランティア体験月間 in あや申込アンケート様式	11 ページ
⑥ 【様式2】ボランティア体験月間 in あや活動報告アンケート様式	12 ページ
■ 100万人のキャンドルナイトキャンペーン報告	13 ページ

『アンケート実地について』

- 調査目的： 子どもから大人まで、誰もが気軽にボランティア活動に参加できるよう、「ボランティア体験月間 i n あや」にて、活動体験に参加いただき町民の皆さんの関心やその意識傾向を把握や今後のボランティア運営をよりよく図るためにアンケートを実地いたしました。
- 調査対象： みやざきボランティア体験月間 i n あや参加者
- 体験期間： 平成 22 年 7 月 26 日（月）から平成 22 年 9 月 30 日（木）まで
- 調査内容： ①参加申込アンケート結果
②ボランティア活動アンケート結果

① 参加申込アンケート結果

申込用紙内にアンケート項目があったので、回収率は 100%である。

1 ボランティア体験参加者数

参加者構成	人数	構成比
小学生	10	48%
中学生	4	19%
高校生	1	5%
専門学生・短大生	0	0%
大学生	1	5%
社会人	5	24%
計	21	100%

参加者の内訳では、小学生が一番多くて社会人・中学生・高校生・大学生と続いている。男女の比率では、女性が約 9 割をしめており、男性よりもボランティア活動に積極的に参加した結果である。小学生の参加では、ほとんどが児童福祉施設でのボランティア希望であった。

2 ボランティア活動希望先

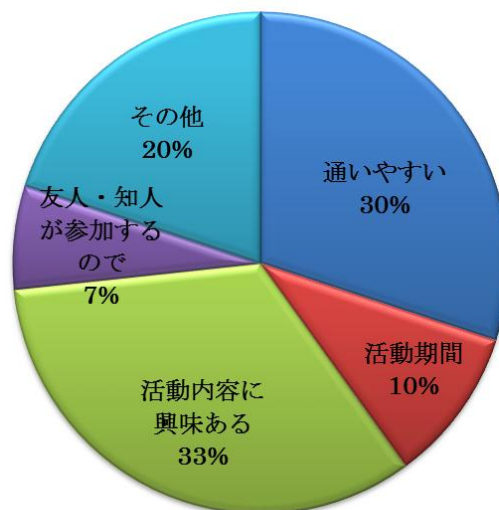
団体名		活動内容	人数	構成比
児童福祉施設	中坪保育所	保育所園児対応	2	8.7%
	北俣保育所	保育所園児対応	0	0.0%
	南俣保育所	保育所園児対応	0	0.0%
	綾幼稚園	運動会運営補助	2	8.7%
	子育て支援センター	利用者とのふれあい	10	43.5%
	綾町児童館	小学生への対応	2	8.7%
高齢者福祉施設	特別養護老人ホーム やすらぎの里	施設内外清掃	2	8.7%
	グループホーム コスモス苑	入居者とのふれあい	1	4.3%
	住宅型有料老人ホームあっとほーむ のあ	入居者とのふれあい	1	4.3%
	綾町デイサービスセンター	利用者とのふれあい	3	13.0%
計			23	100%

※一人が複数箇所で体験を行っているため活動経験者と参加人数は異なります。

活動先は、児童福祉施設 70%、高齢者施設が 30% の順となっている。今回は、障害者福祉施設のボランティア体験者はいない。また、子育て支援センターでは、小学生からの受け入れが可能だったので、参加者が小学生 10 名が参加している。

3 活動先を選んだ理由（複数回答）

活動先を選んだ理由	人数
通しやすい	9
活動期間	3
活動内容に興味ある	10
友人・知人が参加するので	2
その他	6
計	30



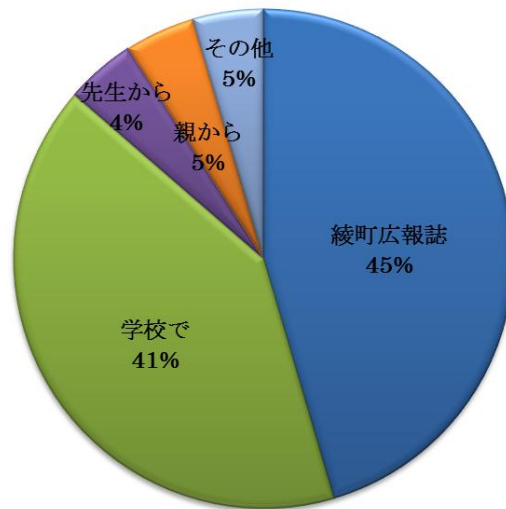
その他（自由回答）

- ・いろいろな体験をして、将来の夢を見つけるため（小学3年）
- ・去年参加したから（中学2年） ・小さい時に通っていたから（小学5年）
- ・去年もお世話になったので今年も行きたい（大学3年）・姉も参加するので（小学4年）
- ・母がお世話になっています（60代）

活動先では、“活動内容に興味がある”が多く、次に通しやすい等の順である。その他の回答では、目標をもって参加することや去年も参加し継続を持ってボランティア活動に参加していることが分かる。

4 企画をどこで知ったか（複数回答）

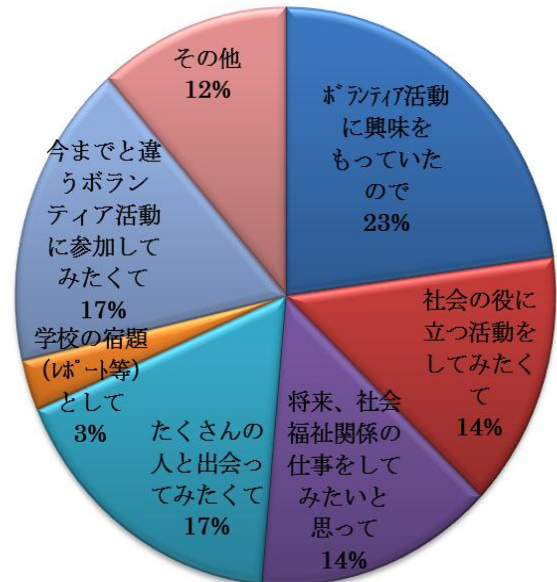
企画をどこで知ったか	人数
綾町広報誌	10
ぶーら・ポーラ(県ポラHP)	0
学校で	9
先生から	1
友達から	0
親から	1
その他	1
計	22



ボランティア活動を知ったのは、町広報誌と学校で8割の方が確認したことが分かる。

5 参加の動機は（複数回答）

参加の動機	人数
ボランティア活動に興味をもっていたので	8
社会の役に立つ活動をしてみたい	5
友達をつくりたくて	0
将来、社会福祉関係の仕事をしてみたい	5
たくさんの人と出会ってみたい	6
学校の宿題(レポート等)として	1
今までと違うボランティア活動に参加してみたくて	6
その他	4
計	35



その他（自由回答）

- ・感謝の気持ちから

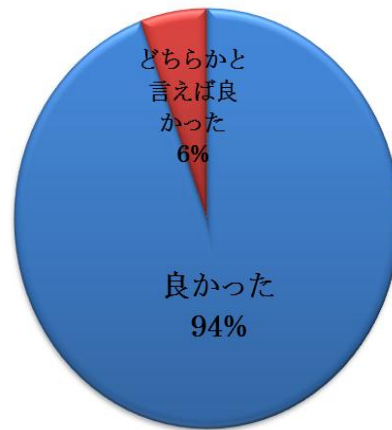
ボランティア活動に興味をもっている方が多いことが分かる。今回、学校の宿題として参加が1名おり、夏休みの帰省を利用して県外の高校生が町内のボランティア活動を実地している。

② ボランティア活動アンケート結果

体験活動アンケート回収率は 80.9%

1 体験プログラムに参加しての感想

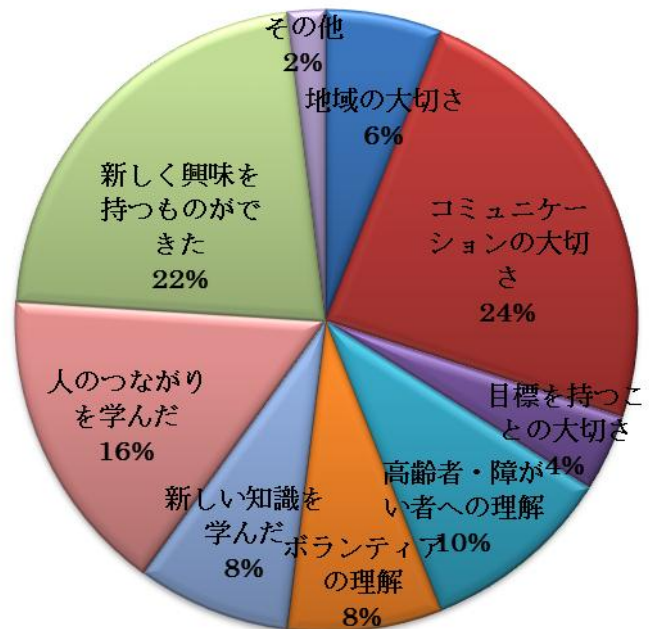
体験の感想	人数
良かった	17
どちらかと言えば良かった	1
どちらとも言えない	0
どちらかと言えば良くなかった	0
良くなかった	0
計	17



感想は、ほとんどの方が良かったと回答しており、ボランティア活動をとおして、参加の動機に対する目標が達成でき満足感を得たことがわかる。

2 体験プログラムに参加して学んだこと（複数回答）

参加して学んだこと	人数
地域の大切さ	3
コミュニケーションの大切さ	12
チームワークの大切さ	0
目標を持つことの大切さ	2
高齢者・障がい者への理解	5
ボランティアの理解	4
新しい知識を学んだ	4
人のつながりを学んだ	8
新しく興味を持つものがあった	11
その他	1
計	50



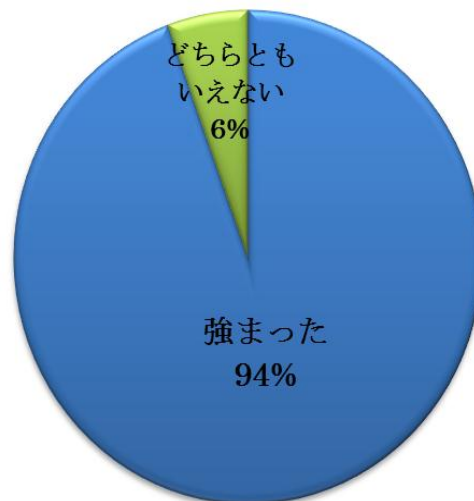
その他（自由回答）

- ・言葉のつかいかた（小学6年）

参加して学んだことは、コミュニケーションの大切さや新しく興味を持つものがあったと体験をとおして、言葉のつかいかたや今までと違う活動をとおして新しく興味を持つことができたと感じる。

3 体験プログラムに参加して福祉への関心

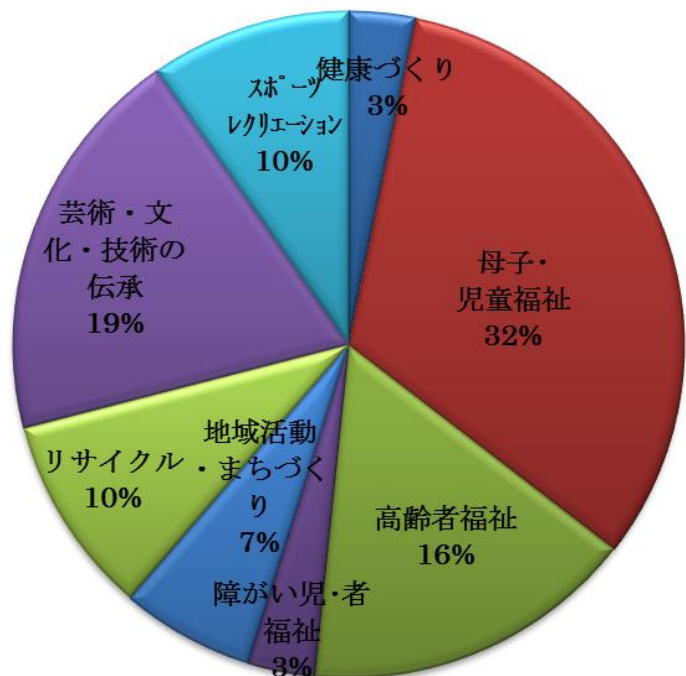
福祉への関心	人数
強まった	17
弱まった	0
どちらともいえない	1
計	18



体験をとおして、強まったと回答する方が多い。コミュニケーションをとおして福祉に対する関心が出るきっかけとなったようである。

4 今度どのような体験プログラムに参加したい（複数回答）

今後、参加したいプログラム	人数
健康づくり	1
母子・児童福祉	10
高齢者福祉	5
障がい児・者福祉	1
環境保全	0
防犯・防災	0
地域活動・まちづくり	2
国際協力	0
リサイクル	3
芸術・文化・技術の伝承	6
スポーツ・レクリエーション	3
その他	0
計	31



活動先は、児童福祉施設 70%、高齢者福祉施設が 30%の順となっている。今回は、障害者福祉施設のボランティア体験者はいない。また、子育て支援センターでは、小学生からの受け入れが可能だったので、参加者が小学生 10 名が参加している。

5 体験プログラムに参加して特に印象に残ったことや感想

- 1人1人の利用者の方と目を見て、手を取ってお話ができ、みなさんがどれだけデイサービスでのひとときを楽しみにされているかが伝わってきました。必要とする、必要とされる、仕事を越えた、年齢を越えた、人と人の温かいつながりのある。笑顔あふれる場で貴重な経験をさせて頂きました。ありがとうございました。(20代)
- 話をすることにより、借りの事を思い出される事が多くあった。また犬を同伴した事も良かった様に思った。書物に興味をもつ人もあったので、何冊か持参し利用してもらっている。今は、インフルエンザ等の関係もあり訪問を中止しているが今後も続けたいと思っています。対話していると涙する人もあり、心の居場所を求めているのを感じた。(60代)
- 小さな子たちと遊んだことで保育などの勉強になりました。児童館の子たちはみんな素直だったのでコミュニケーションがとりやすかったです。(高校1年)
- 子どもたちと赤ちゃんたちといろいろお話して遊んでとっても楽しかった。(小学3年生)
- 2時間でしただけ、とても有意義な時間でした。施設から出て車椅子を押して近くをお散歩できたことは私自身も心から楽しんでいました。(20代)
- まだ、小さい子供たちといっしょに遊んでやったりした所です。とくに、まだ立っていっしょに遊べない(0さいぐらいの)子といっしょに、ガラガラおもちゃで遊んでやることです。(小学3年)
- 今夏は、初めてのボランティアで緊張もしていましたが、幼稚園の子ども達とたくさんふれ合うことができて、とても楽しかったです。役に立ったかは分かりませんが、このボランティア活動に参加できてよかったと思います。(中学2年)
- 今日の体験で、一番親切さが大切だと思った。(小学5年)
- 小さい子は、とってもかわいかったです。特に寝顔がかわいかったです。またしたいです。(小学6年)
- 赤ちゃんたちとたくさんふれあえたことが一番心にのこりました。(小学3年)
- 言葉のつかいかたが悪いとみんながまねするから気をつける。コミュニケーションが大切だということがわかった。(小学6年)
- 利用者の笑顔とやさしさが印象に残りました。(小学6年)
- 小さな子供たちが笑ってくれたところが印象に残りました。(小学6年)
- 小さい子どもたちのえがおがとても印象に残った。(小学4年)
- 小さい子のめんどろをみるのは、とてもむずかしかったが、全員ではないがほとんどの人が言うことをきいてくれたから、うれしかった。このボランティアをして、先生や大人の気持ちが変わってきました。(中学2年)

福祉施設ボランティア体験活動写真

綾町デイサービスセンター



綾町デイサービスセンター



綾町デイサービスセンター



中坪保育所



子育て支援センター



子育て支援センター



環境ボランティア体験

1. 日 時 平成 22 年 8 月 28 日 (土) 9 : 30 ~ 12 : 00

2. 場 所 綾町児童館

3. 参加者 小学生 11 名、園児 1 名、保護者 2 名、
ひむか・おひさま共和国 6 名
学生ボランティア 1 名、職員 3 名

計 24 名

4. 内 容

9 : 30 ~	<ul style="list-style-type: none"> ● 地球温暖化現象・省エネ・太陽光発電について 講師：ひむか・おひさまネットワーク事務局長 楠見 博 氏 内容：日本のエネルギー自給率、地球の資源の使える年数 太陽光の 1 時間におけるエネルギー量等
11 : 20 ~ 11 : 30	<ul style="list-style-type: none"> ● ペットボトルソーラーカー製作、ソーラーカーレース
11 : 50	<ul style="list-style-type: none"> ● 終了



みやざきボランティア体験月間 in あや参加申込カード

受付No.

提出日：平成 年 月 日

氏名	ふりがな			連絡先	綾町大字 電話番号： ー 携帯電話 () F A X： ー 携帯・PCメール： @		
	性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	年齢		歳 所 属	<input type="checkbox"/> 学生 学校名・学科() 小学・中学・高校・専門学校・短大・大学 年生 <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> 社会人(勤務先) <input type="checkbox"/> その他()	
活動先番号		施設・団体名等			活動希望日時		活動先を選んだ理由
(第一希望)							A. 通いやすい B. 活動期間 C. 活動内容に興味がある D. 友人・知人が参加するので E. その他()
(第二希望)							A. 通いやすい B. 活動期間 C. 活動内容に興味がある D. 友人・知人が参加するので E. その他()
企画をどこで知りましたか	<input type="checkbox"/> 綾町広報誌 <input type="checkbox"/> ふーら・ポーラ（県ボラHP） <input type="checkbox"/> 学校で <input type="checkbox"/> 先生から <input type="checkbox"/> 友達から <input type="checkbox"/> 親から <input type="checkbox"/> その他()				(複数チェック可) 参加の動機は？	<input type="checkbox"/> ボランティア活動に興味をもっていたので <input type="checkbox"/> 社会の役に立つ活動をしてみたいくて <input type="checkbox"/> 友達をつくりたくて <input type="checkbox"/> 将来、社会福祉関係の仕事をしてみたいと思って <input type="checkbox"/> たくさんの人と出会ってみたいくて <input type="checkbox"/> 学校の宿題（レポート等）として <input type="checkbox"/> 今までと違うボランティア活動に参加してみたくて <input type="checkbox"/> その他()	
	ボランティア活動の経験		なし・あり（⇒具体的に： ）				
ボランティア活動保険		未加入・加入済（平成 年 月 日どこで ）					
事前説明会 希望参加日時		<input type="checkbox"/> 7月17日（土）9：30～ <input type="checkbox"/> 7月17日（土）14：00～					

※小・中・高校生および18歳未満の参加者は、必ず保護者の方にこの同意書を記入してもらってください。

同 意 書

みやざきボランティア体験月間 in あや への参加について

趣旨に賛同し（参加者名） が参加することに同意します。

平成 年 月 日 保護者名 ⑩ 続柄

緊急連絡先 （ ）

ご記入いただいた個人情報は、活動先または本センターからの連絡等本事業以外の目的で使用・公開することはありません。

ボランティア体験月間 in あや活動報告

綾町ボランティアセンター

このたびは、『ボランティア体験月間 in あや』の体験プログラムにご参加いただきまして誠にありがとうございました。本事業の成果や今後のボランティア事業の参考にさせていただくため、アンケートにご協力ください。

名 前 ()

・活動した日数：7月 () 回) 8月 () 回) 9月 () 回)

・活動した日
【 】

・活動内容
【 】

Q 1 今回の体験プログラムに参加してのご感想はいかがでしたか？ (1つだけ)

1. 良かった 2. どちらかと言えば良かった 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば良くなかった 5. よくなかった(具体的に)

Q 2 今回の体験プログラムに参加して学んだことは何ですか？ (複数可)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 地域の大切さ | 2. コミュニケーションの大切さ |
| 3. チームワークの大切さ | 4. 目標を持つことの大切さ |
| 5. 高齢者・障がい者への理解 | 6. ボランティアの理解 |
| 7. 新しい知識を学んだ | 8. 人のつながりを学んだ |
| 9. 新しく興味を持つものができた | 10. その他() |

Q 3 今回の体験プログラムに参加して福祉への関心は、どのようになりましたか？
(1つだけ)

1. 強まった 2. 弱まった 3. どちらともいえない

Q 4 今後どのような体験プログラムに参加したいと思いますか？ (複数可)

- | | | |
|-----------------|-------------------|------------|
| 1. 健康づくり | 2. 母子・児童福祉 | 3. 高齢者福祉 |
| 4. 障がい児・者福祉 | 5. 環境保全 | 6. 防犯・防災 |
| 7. 地域活動・まちづくり | 8. 国際協力 | 9. リサイクル |
| 10. 芸術・文化・技術の伝承 | 11. スポーツ・レクリエーション | 12. その他() |

Q 5 今回の体験プログラムに参加して特に印象に残ったことや感想をお書きください。

Q 6 今後、綾町ボランティアセンターからのボランティア依頼の連絡を希望されますか。

希望する ・ 希望しない

冬のボランティア体験

趣 旨 『廃油キャンドルを作り自宅でロウソクのひかりで、夜を家族と過ごすことで環境について考えていただく』

1. 日 時 廃油キャンドル作り 平成 22 年 12 月 11 日（土） 13:30～15:30
 廃油キャンドル点灯 平成 22 年 12 月 21 日（火） 17:30～ 点灯

2. 場 所 綾町児童館

3. 参 加 者

11 日（土）小学生 21 名、中学生 2 名、幼児 1 名、保護者 3 名、

宮崎県地球温暖化防止活動推進員 3 名（園田・山口・村田）計 30 名

21 日（火）児童クラブクリスマス会参加者及び児童館利用者・保護者 約 50 名程

4. 内 容

13:30～	● 開会 あいさつ
13:40～	● 講話：地球温暖化ってなあに？（資料添付）
	● 廃油キャンドル作り 300 個製作 ペットボトルは、保護者や水を守る会などが提供
15:30	● 終了



平成 22 年 12 月 11 日



平成 22 年 12 月 11 日



平成 22 年 12 月 21 日



平成 22 年 12 月 21 日



平成 22 年 12 月 21 日

平成22年12月11日（土）廃油キャンドル作りの様子です。



地球温暖化について説明中



町内の地球温暖化防止活動推進員の方です。



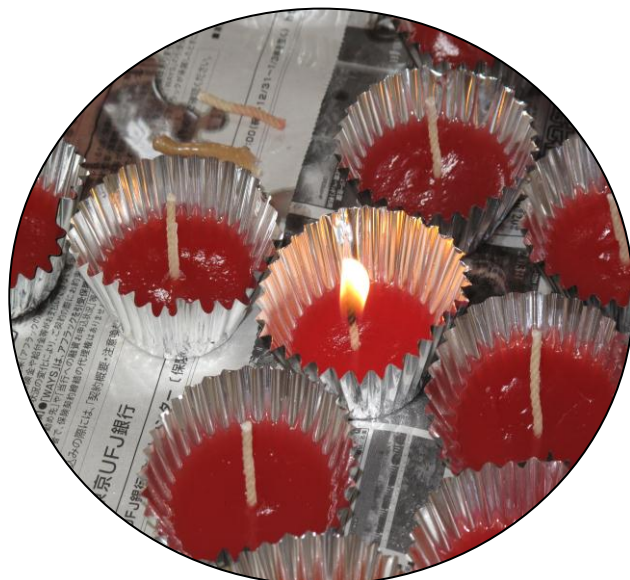
自分のお気に入りグラス探し中



廃油にクレヨンをまぜまぜ



廃油が固まって、芯を真ん中にさしてみよう



廃油キャンドルの出来上がり